430	その後の沖縄事情	沖縄県　　個人蔵資料 福岡事務所	
431	第三十二軍陣中日誌	第32軍参謀部防衛研究所蔵	
432	第４８師団（台湾混成旅団）戦史	南星会編　（防衛研修所蔵）	1967
433	第62師団史実資料	第32軍残務　（防衛研修所蔵） 整理部編	
434	第62師団会報綴 －石兵団会報　昭和19年度	防衛研究所蔵（防衛研修所蔵）	1944
435	第62師団関係資料綴	６２Ｄ司令部（防衛研修所蔵）	
436	大学生の沖縄戦記録	石原ゼミ戦争　ひるぎ社 体験記録会	1985
437	大南洋	南洋団体連合日本青年教育会	1942
438	第二次大戦時　沖縄朝鮮人強制連行 虐殺真相調査団報告	強制連行虐殺真相調査団	1972
439	第２次世界大戦戦争体験調査報告集 －浦添中学校３学年調査	里井洋一編	1978
440	第２中隊陣中日誌・第３中隊陣中日誌	独立速射砲　（防衛研修所蔵） 第22大隊作成	
441	TYPHOON　OF　STEEL	TAMES.H BELOHARPAR ROW PAB	1970
442	太平洋戦争と沖縄戦 平和教育教材パネル	月刊沖縄社　月刊沖縄社	1982
443	太平洋戦争　Ⅳ	歴史学研究会青木書店	1972
444	台湾軍将校職員表	台湾軍司令部（防衛研修所蔵）	1941
445	台湾方面軍事作戦記録 －台湾及南西諸島	第一復員局編（防衛研修所蔵）	1946
446	武下　－回顧録	武下秀吉　　自費出版	1977
447	竹富町誌	竹富町誌編集委員会	1974
448	たった一人の証言 －沖縄決戦挺身切り込み隊	松井金一　　私家版	1978
449	ダバオ開拓３５周年写真帖	久志助親　　日光写真工芸社	1940
450	玉城村誌	玉城村	
451	たらま島　孤島の民族と歴史	多良間村　　多良間村	1973
452	多良間村史	多良間村	
453	短歌で綴る沖縄戦	玉那覇文彦	1983
454	地球をまもろうよ せんそうとへいわ	新川和江	
455	父の戦記	週刊朝日　　朝日新聞社	1982
456	父は沖縄で死んだ	大田英雄　　高文研	1989
457	知名町誌	知名町	
458	血に染まるかりゆしの海	創価学会青年第三文明社 反戦出版委員	1976
459	血塗られた珊瑚礁 －衛生兵の沖縄戦記	関根　清　　ＪＣＡ出版	1981
460	知念村史	知念村	
461	チャーリー-17ィ-トからよみがえった男	玉城明彦　　沖縄出版	1985
462	北谷村誌	北谷村	
463	北谷町史　第６巻　資料編	北谷町　　北谷町	1988
464	北谷町民の戦時体験記録集　第１集	北谷町史編集事務局	1985
465	鎮魂	韓国人慰霊塔奉安会	1978
466	鎮魂の賦（うた） －戦争体験は語り継がねばならない	一紀徹守　　現代書林	1988
467	鎮魂の断章	長山一雄　　サザンプレス	1992
468	鎮魂の道　－原爆・水俣・沖縄－	丸木位里・俊岩波書店 水上勉	1984

469	鎮魂譜（照屋忠英先生回想録） －沖縄戦避難日記	照屋忠英遺徳青い海出版社 顕彰碑期成会	1978
470	追憶　太平洋戦略 －栄光と苦悩ｴｲﾌﾞﾘﾙ・ﾌｰﾙﾄﾞ・ﾃﾞｰ	塚田藤司　成山堂書店	1980
471	対馬丸－沖縄の悲劇	石野径一郎　講談社	1976
472	対馬丸	大城立裕ほか理論社	1986
473	対馬丸遭難 軍艦宇治乗り組みの一軍人による手記	前田紀太郎　私家版	1981
474	つしま丸のそうなん	金沢嘉一　あすなろ書房	1972
475	つばさの血戦－かえらざる隼戦闘隊	檜興平　光人社	1967
476	帝国陸軍の最後（４、５）角川文庫	伊藤正徳　角川書店	1973
477	帝国陸軍の最後　－特攻編	伊藤正徳　文芸春秋社	
478	鉄血勤皇隊	大田昌秀　ひるぎ社	1977
479	鉄血の島　沖縄に燃える命	池上金男　東洋社	1985
480	徹底抗戦　－ﾍﾟﾘﾘｭｰ・ｱﾝｶﾞｳﾙの玉砕 太平洋戦争写真史	平塚征緒　月刊沖縄社	1981
481	鉄の暴風　沖縄戦記	沖縄タイムス沖縄タイムス社	1980
482	鉄の暴風－現地人による沖縄戦記	沖縄タイムス朝日新聞社	1950
483	東京占領　－太平洋戦争写真史－	佐久田繁編　月刊沖縄社	1979
484	渡嘉敷島戦闘の概要	渡嘉敷村遺族会	1953
485	渡嘉敷村史　資料編	渡嘉敷村　渡嘉敷村	1987
486	ドキュメント沖縄戦跡・基地巡り	北海道高教組情報号外	1978
487	特集沖縄戦と教科書検定 歴史と実践　第11号	沖縄県歴史教育者協議会	1983
488	特別ルポ　南北の塔	文化評論　文化評論	1979
489	独立混成第15連隊陣中日誌1/2	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
490	独立歩兵第12大隊歩兵砲中隊命令録	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
491	独立歩兵第273大隊整理名簿	三尾久雄編　（防衛研修所蔵）	
492	独立歩兵第13大隊歴史	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
493	独立歩兵第14大隊第 5中隊陣中日記	独歩第12大隊（防衛研修所蔵）	1945
494	独立歩兵第14大隊歴史	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
495	独立歩兵第15大隊歴史	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
496	独立歩兵第21大隊略史	防衛研修所　（防衛研修所蔵）	
497	特攻体験と戦後（対談）	島尾敏雄・吉田満　中央公論社	1978
498	渡名喜村史	渡名喜村	
499	中頭郡誌	中頭	
500	仲里村誌	仲里村	
501	永田町一番地	中村正吾　東京ﾆｭｰｽ社	1946
502	仲西国民学校学童集団疎開記録	宮里信吉	1975
503	仲程村誌	仲程村誌編集委員会	1978
504	今帰仁村誌	今帰仁村史編集委員会	1975
505	名護市誌　本編１１	名護市役所　名護市役所	1988
506	名瀬市誌	名瀬市	
507	那覇１０・１０空襲	大田昌秀　久米書房	1984
508	那覇市史　資料編 第2巻中6 －市民の戦時体験記戦時資料	那覇市史編集室	1974
509	那覇市史　通史編 第2巻　近代史	那覇市史編集室	1974
510	那覇市史　資料編 第2巻中2 －新聞集成（昭4～20）	那覇市史編集室	1969
511	那覇市史　資料編 第3巻7 －市民の戦時戦後体験記１－	那覇市史編集室	1981
512	那覇市史　資料編 第3巻8 市民の戦時戦後体験記2 戦後海外編	那覇市史編集室	1981

513	那覇市の戸籍　戦災からのあゆみ	那覇市編　那覇市	1981
514	那覇の街が消えた日　そして －那覇十・十空襲	那覇市平和振興室	1990
515	名前よ立って歩け	中屋幸吉　三一書房	1972
516	南海の死闘－昭和戦争文学全集６－	集英社　集英社	1965
517	南風の吹く日	下嶋哲郎　童心社	1984
518	南北の塔－アイヌ兵士と沖縄戦の物語	橋本　進　草土文化	1981
519	南溟の果てに －神風特別攻撃隊かく戦えり	安延多計夫　自由アジア社	1960
520	南洋テニアン島名簿	琉球政府内務局	
521	逃げる兵　－サンゴ礁の碑	渡辺憲央　マルジュ社	1982
522	西原町史２　資料編	西原町史編纂委員会	1988
523	西原町史３　資料編２ 西原の戦時記録	西原町史編纂委員会	
524	二十七度線の南から －沖縄キリスト者の証言	日本基督教団沖縄地区	1971
525	日米最後の－沖縄戦死闘の九十日	米国陸軍省編サイマル出版会 外間正四郎訳	1969
526	日本軍の沖縄作戦 －秘録写真戦史総集編	沖縄戦史　月刊沖縄社 刊行会	1985
527	日本最後の戦い －沖縄戦記録写真集－	神谷明仁・　月刊沖縄社 中曽根義人編	1979
528	日本大空襲－太平洋戦争写真史	佐久田繁編　月刊沖縄社	1979
529	日本軍強し －血戦・ガダルカナルから沖縄まで	R・レッキー、　恒文社 児島襄訳	1965
530	日本の空襲　９　－沖縄－	日本の空襲　三省堂 編集委員会	1981
531	日本の歴代知事	歴代知事編纂会	
532	日本兵	霜多正次　東邦出版	1970
533	日本陸海軍の制度・組織・人事	日本近代史料東京大学出版会 研究会編	
534	人間でなくなる日 －沖縄戦住民証言集－	中山良彦　集英社	1983
535	命どぅ宝　－沖縄に学んだこどもたち	子ども全国交統一の旗出版社 歓実行委員会	1987
536	命まさい　－徴兵を忌避した沖縄人	福地曠昭　那覇出版社	1987
537	根路銘誌	根路銘	
538	敗戦と沖縄	松川久仁男　沖縄経済社	1965
539	南風原町史	南風原町	
540	南風原が語る沖縄戦 －南風原町沖縄戦災調査２	南風原町教育委員会	
541	はだかの捕虜	来栖良夫　新日本出版社	1982
542	八月二十二日の太陽	下嶋哲郎　フレーベル館	1984
543	八月十五日の天気図 －海軍気象士官の手記	矢崎好夫　戦誌刊行会	1983
544	羽地村誌	羽地村	
545	母たちの戦争体験	沖縄県婦人連合会	1986
546	母と子でみるひめゆりの乙女たち	朝日新聞社　草土文化	1983
547	遙かなる空	長嶺稔　月刊沖縄社	
548	恨　朝鮮人軍夫の沖縄戦	海野福寿　他河出書房新社	1987
549	ＰＷハワイ捕虜－第一回記念誌	嘉島忠男　ハワイＰＷ会	1981
550	ＰＷドクター沖縄捕虜記	間中嘉雄　金剛社	1962
551	東村史　第１巻通史編	東村　東村役場	1987
552	引揚援護の記録	引揚援護庁総務課編	1950

634	龍樋 沖縄師範学校１９年卒業四十周年記念	沖縄師範１９年卒	1985
635	虜囚の哭	霜多正次　新日本出版社	1970
636	歴史と実践　第11号 （沖縄戦と教科書検定）	沖縄県歴史教育者協議会 沖縄県歴史教育者協議会	1983
637	６歳未満死亡者調査資料	沖縄戦被災者補償期成連盟	1971
638	６歳未満負傷者調査資料	沖縄戦被災者補償期成連盟	1971
639	ロタ会会誌　創刊号	安田秀夫編　新報出版	1981
640	わがこころの軌跡－ひめゆりの残り香	亀川紀代　青い海出版社	1979
641	忘れられぬ体験 －市民の戦時・戦後記録第１集	那覇市民の戦時・戦後体験記録委員会編	1978
642	忘れられぬ体験 －市民の戦時・戦後記録第２集	那覇市民の戦時・戦後体験記録委員会編	1978
643	私の沖縄戦	中川宗四郎　自費出版	1980
644	私の沖縄戦記　－第32軍司令部秘話	濱川昌也　那覇出版社	1990
645	私の沖縄戦体験記	山城トヨ　ロマン書房出版	1985
646	私の戦争体験	喜友名朝徳　自費出版	1981
647	私のひめゆり戦記	宮良ルリ　ニライ社	1986
648	我らかく戦えり　太平洋戦争２	戦争体験者の会　光文社	1966

592	捕虜になるまで	沖縄・子供とポプラ社 教師の文学の会	1975
593	本土決戦とわが国民防衛の実相	池野清躬	
594	松木一等兵の沖縄捕虜日記	松本謙次郎　恒文社	1974
595	まぶにのあんまー	赤座憲久　ほるぷ出版	
596	美里村史	美里村	
597	南大東村誌	南大東村　南大東村役場	1968
598	南の巌の果てまで－沖縄学徒兵の記	渡久山朝章　文教図書	1978
599	南の島から描いているもの －戦中戦後・沖縄の母達は何をみたか	山本　卓　梓書房	1990
600	南の碑　－戦争１３	読売新聞大阪社会部編	
601	みのかさ部隊戦記 －郷土防衛隊・白保飛行場	石垣正二　ひるぎ社	1977
602	宮城が語る沖縄戦 －南風原町沖縄戦災調査２	南風原町教育委員会	
603	宮古島建築兵始末記	野口退蔵　永文堂	1972
604	宮古島戦記	瀬名波栄　宮古島戦記刊行会	1966
605	宮良村誌	宮良村	
606	みんなみの巌のはてに －沖縄の遺書	金城和彦・小原正雄　光文社	1959
607	むかしオキナワ　－写真集	琉球新報社　琉球新報社	1978
608	村と戦争　喜如嘉の昭和史	福地曠昭　村と戦争刊行委	1975
609	目でみる耳で聞く沖縄の戦跡	久保田忠夫　ポプラ社	1961
610	もうひとつの沖縄戦 ﾏﾗﾘｱ地獄の波照間島	石原ｾﾞﾐ戦争体験記録会　ひるぎ社	1985
611	もうひとつのひめゆり部隊	富村順一　ＪＣＡ出版	1982
612	燃える日本列島 （父が語る太平洋戦争３）	来栖良夫他　童心社	1969
613	燃える海　－輸送船富山丸の悲劇	福地曠昭　海風社	1989
614	元逓信従業員沖縄戦記 （久米島郵便局之部）	喜久里教文　私家版	不詳
615	本部町史	本部町	
616	八重山戦記	吉田久一　福祉春秋社	1953
617	やんばる１００年写真集	那覇出版社　那覇出版社	1981
618	与那城村史	与那城村	
619	与那原町史	与那原町	
620	四人の兵士のものがたり	代田　昇　あすなろ書房	1973
621	甦る現役兵日記 －ある戦没学徒の人間愛	中島五太　遺稿刊行会	1988
622	読谷村誌	読谷村　読谷村役所	1967
623	よろづよに　－最後の陸軍特攻基地	苗村七郎　民芸閣	1974
624	与論町誌	与論町	
625	落日の戦場	伊藤桂一　講談社	1965
626	ラサ島守備隊日記	森田芳雄　文研出版	1968
627	藍のほまれ －旧満州7000部隊将兵の記録	全国7000会編集委員会　全国7000会編集委員会	1982
628	陸軍航空作戦 陸軍航空作戦－沖縄・台湾・硫黄島方面	防衛研修所　朝雲新聞社	1975
629	陸軍嘱託歯科医の沖縄戦	平良　進　若夏社	1979
630	陸軍二等兵　比嘉真一	吉村　昭　筑摩書房	1982
631	琉球慰安婦－天皇制下の闇の性	富村順一　玄曜社	1977
632	琉球官兵顛末記 －沖縄出身官兵等の台湾引揚記録	台湾引揚記録委員会　台湾引揚記刊行期成会	1986
633	竜郷町史	竜郷町	

553	悲劇の座間味島 －沖縄敗戦秘録－	下谷修久・千代田印刷ｾﾝﾀｰ	私家版	1968
554	悲哭　沖縄戦　－昭和の戦争　5	豊平良顕	講談社	1985
555	備瀬史（本部町）	備瀬		
556	備忘録	大塚文郎大佐陸軍省医事課長		
557	備忘録　－宮崎県学童疎開日誌－	島袋善恒		1945
558	「ひめゆりの乙女たち」展 －あれから35年　鉄の暴風・沖縄戦	朝日新聞社	朝日新聞社 －	1980
559	ひめゆり　－女師・一高女沿革誌－	沖縄県女師・県女師・一高女		1987
560	ひめゆり学徒隊の青春	西平英夫	三省堂	1972
561	ひめゆり教師の手紙 －戦場から疎開地の妻子へ	玉代勢秀子、ニライ社 秀文		1988
562	ひめゆりの乙女たち	早乙女勝元	草の根出版会	
563	ひめゆりの国	石野径一郎	朝日書院	1968
564	ひめゆりの少女たち－ －沖縄戦に散った女生徒隊の悲劇	那須田稔	偕生社	1970
565	ひめゆりの塔　（講談社文庫）	石野径一郎	講談社	1984
566	ひめゆりの塔	石野径一郎	山雅房	1950
567	ひめゆりの塔	石野径一郎	旺文社	1972
568	ひめゆりの塔をめぐる人々の手記	仲宗根政善	角川書店	1980
569	ひめゆりの悲曲 －沖縄人による血の記録	沖縄タイムス	朝日新聞社	1953
570	ひめゆり部隊	石野径一郎	出版東京	1952
571	ひめゆり部隊の最後 （少年少女ﾉﾝﾌｨｸｼｮﾝ）	金城和彦	偕成社	
572	ひめゆり平和祈念資料館 公式ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	県女師・一高女ひめゆり同窓		1989
573	秘められたる戦記	益井康一	毎日新聞社	1946
574	平良市史　第１巻　通史編Ⅰ	平良市史編集委員会		1979
575	平良市史　第４巻　資料編	平良市史編集委員会		1978
576	秘録　沖縄戦記	山川泰邦	読売新聞社	1969
577	秘録　写真戦史－沖縄作戦	瀬名波栄	沖縄戦記刊行会	1978
578	秘録　防衛隊	福地曠昭	沖縄時事出版	1985
579	フィリピンの戦い－太平洋戦争写真史	西本正巳・佐久田繁編	月刊沖縄社	1980
580	ぶっそうげの花ゆれて －沖縄戦と女教師－	沖縄県退職教職員会婦人部	ドメス出版	1984
581	負の遺産　－肉親に聞く戦争体験	沖縄県立首里高校国語科		1978
582	故里に語る宜野座誌	宜野座		
583	分村三十五周年記念誌	嘉手納町	嘉手納町	1983
584	米軍記者が見た沖縄　昭和２０年	青山洋二	青山映子	1985
585	米軍進攻直前の沖縄に派遣されて 『大霞』第46号	川嶋三郎		1969
586	平和教育の実践集Ⅰ・Ⅱ－ －沖縄戦と基地学習を深めるために	沖縄県教育文資料センター		1983
587	平和への証言 －沖縄県平和祈念資料館ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	沖縄県援護課 －		1983
588	防衛隊　左手に竹槍右手に鍬 －秘録沖縄決戦－	福地曠昭	沖縄時事出版	1985
589	防衛庁沖縄戦史資料　複製１～１５	防衛庁戦史室		
590	補充兵日記	松川久仁男	泰流社	1979
591	捕虜日記	J・ｳｴｰﾗﾝﾄﾞ、富永・堀江訳	原書房	1967

編　集　後　記

戦後５０年の掉尾を飾ると言えばかっこよいが、実は、年度末まで発行がずれ込んでしまったというのが本音である。

言い訳めくが、平成７年は、１月２２日の６千余名のボランティアによる県民遺骨収集、６月２３日の村山総理大臣、土井衆議院議長、原参議院議長、草場最高裁長官という三権の長を迎えての沖縄全戦没者追悼式、８月２日の天皇陛下御来県という未曾有の行事を抱え、援護課総動員であたり、息つく暇もなかったというのが現状であった。

しかも、戦後５０年の節目に解決すべき事項として八重山地域の戦争マラリア問題が年末のギリギリまでもめにもめた。

限られた陣容でこれらの業務をこなしながら、この記念誌を発刊するということは大変なプレッシャーであり、一時は年度内でも無理ではないかという思いがよぎった。

しかし、執筆担当の各主幹をはじめ、資料収集等に奔走した各編集委員の土壇場の粘り腰で発刊にたどり着いた。感無量の思いである。

ところで内容においては長い年月の経過で掘り起こしが十分でなく、意図通りにいかない面もあったが、その意をくみとっていただければ幸いである。

資料収集に協力いただいた県議会図書室や県立図書館、県公文書館、証言手記の転載にこころよく御承諾いただいた各位、お忙しい中を快く回顧談の執筆に応じていただいた先輩諸兄に深く感謝し申し上げます。（H・Y）

沖縄の援護のあゆみ

－沖縄戦終結５０周年記念

平成８年３月２５日　発行

発　行　沖縄県生活福祉部援護課

〒900 沖縄県那覇市泉崎１丁目２番地２号

電話　(098)866-2177（直通）

編　集　沖縄県生活福祉部援護課

印　刷　沖縄コロニー印刷

〒901-21　沖縄県浦添市宮城４－９－１７

電話　(098)877-3344（代表）

編集委員名簿

援護課	課　長	仲里　正義
	副参事	玉城　敬三
	〃	嶺井　健次
	主　幹	新垣千代子
	〃	喜納　康升
	〃	森山　順子
	〃	饒平名　宏
	主　査	稲嶺　盛昭
	〃	前城　新一
	〃	金城　克子
	〃	藤田　勝己
	〃	瑞慶山　勝
	〃	末吉　信子
	〃	登川　正美
	副主査	平岡美音子
	主　事	小先ふき子